

第3回 より良く生きるために

お釈迦様の話と芥川龍之介「蜘蛛の糸」

—津軽三味線の音色にのせて—

第3回「よりよく生きるために」は、「お釈迦様の話と芥川龍之介・蜘蛛の糸」を津軽三味線の音色にのせてお伝え致します。お釈迦様の仰った教えを現代社会に活かしていただくよう話をさせていただき、言霊の響きと津軽三味線の響きが皆様のお心に届き、不思議に生きる力が湧いてくる時間にしたいと願っております。「蜘蛛の糸」は芥川龍之介の代表作の一つです。山中信人氏の津軽三味線の音は、強くそしてしなやかに響きます。ご参加をお待ち致しております。



講師 近藤文子



津軽三味線奏者
山中信人氏



浅草「むぎとろ」本店



食事 (イメージ)

◇日 時/2015年2月26日(木)

◇時 間 受付 10:30 から
開始 11:00

津軽三味線・朗読、その後昼食

解散 14:30 頃

◇場 所 浅草「むぎとろ」本店

東京都台東区雷門2-2-4 ☎03-3842-1066

◇参加費 10,500円(食事代・消費税込み)



裏面をご覧ください

出演者プロフィール



山中信人

津軽三味線山田流師範。中学卒業後、15歳で単身青森県弘前市に渡り、4年間修業。2011年、2013年、2014年と、津軽三味線全国大会「唄付け伴奏部門」で3回優勝。



近藤文子

詩人 放送大学講師
千葉市立おゆみ野南小学校校歌作詞
市原市立ちはら台桜小学校校歌作詞
市原市立ちはら台西中学校校歌作詞
地域間交流・千葉県を知る「歴史・文学散歩」主宰

芥川龍之介「蜘蛛の糸」より

ある日の事でございます。御釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りでぶらぶら御歩きになっていらつしやいました。池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉のようにまっ白で、そのまん中にある金色の蕊からは、何とも云えない好い匂が、絶間なくあたりへ溢れて居ります。極楽は丁度朝なのでございましょう。

やがて御釈迦様はその池のふちに御佇みになって、水の面を蔽っている蓮の葉の間から、ふと下の容子を御覧になりました。この極楽の蓮池の下は、丁度地獄の底に当って居りますから、水晶のような水を透き徹して、三途の河や針の山の景色が、丁度覗き眼鏡を見るように、はっきりと見えるのでございます。

するとその地獄の底に、と云う男が一人、ほかの罪人と一しよに蠢いている姿が、御眼に止まりました。この犍陀多と云う男は、人を殺したり家に火をつけたり、いろいろ悪事を働いた大泥坊でございますが、それでもたった一つ、善い事を致した覚えがございます。と申しますのは、ある時この男が深い林の中を通りますと、小さな蜘蛛が一匹、路ばたを這って行くのが見えました。そこで犍陀多は早速足を挙げて、踏み殺そうと致しましたが、「いや、いや、これも小さいながら、命のあるものに違いない……」

参加ご希望の方は下記申し込み先までご連絡
(ハガキ・電話・FAXにてお願い致します)
頂けますようお願いいたします。

問合せ先・申し込み先

NPO 法人ちば文芸フォーラム 理事長 近藤文子

〒266-0026 千葉市緑区古市場町 500-1

電話 043-264-5528 携帯 090-3096-8425

FAX 043-264-5590 E-mail sorairo@sea.plala.or.jp